

横浜冷凍株式会社 証券コード2874

第79期(2026年9月期第2四半期)

# 決算説明会

人とおいしさのあいだに



- 1 . 2026年9月期第2四半期 決算実績
- 2 . セグメント別 決算実績
- 3 . 2026年9月期 通期業績予想
- 4 . 中期経営計画の進捗状況
- 5 . 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
- 6 . APPENDIX

# 1

## 2026年9月期第2四半期 決算実績

Financial Summary for FY2026 2Q

1. 2026年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2026年9月期 通期業績予想
4. 中期経営計画の進捗状況
5. 持続可能な社会へ  
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

## 冷蔵倉庫事業の堅調な需要増、および 食品販売事業の利益率改善により、増収増益

### 売上高

642.2億円

前年同期比

+ 1.3%

進捗率(対期初予想)

54.4%

### 営業利益

41.0億円

前年同期比

+ 35.0%

進捗率(対期初予想)

85.5%

#### 冷蔵倉庫事業

売上高 203億円

前年同期比： + 10.3%

セグメント利益 47億円

前年同期比： + 10.7%

- 在庫量、出庫量ともに順調に推移
- 料金改定も進み、増収増益

#### 食品販売事業

売上高 438億円

前年同期比： △ 2.5%

セグメント利益 14億円

前年同期比： + 107.3%

- 構造改革が順調に進捗
- 利益率重視の事業構造への転換を進める中、計画通りの減収増益

## 上期の業績進捗を反映し、通期予想および配当を上方修正

下期も上期同様に推移する予想

	期初予想		修正後通期予想	対期初予想
売上高	1,180億円	➡	1,250億円	+70億円
営業利益	48億円	➡	70億円	+22億円
年間 配当金 (1株当たり)	24円	➡	27円	+3円

- 売上高642.2億円(前年同期比+1.3%)、営業利益41.0億円(前年同期比+35.0%)の**増収増益**

(単位:百万円)

	25/09期 第2四半期	26/09期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	63,425	<b>64,228</b>	+803	+1.3%
売上総利益	7,701	<b>8,786</b>	+1,084	+14.1%
売上総利益率	12.1%	<b>13.7%</b>	+1.6pt	-
営業利益	3,042	<b>4,106</b>	+1,063	+35.0%
営業利益率	4.8%	<b>6.4%</b>	+1.6pt	-
経常利益	2,604	<b>4,304</b>	+1,699	+65.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,670	<b>2,849</b>	+1,178	+70.5%
設備投資額	8,649	<b>10,898</b>	+2,249	+26.0%
減価償却費	3,784	<b>4,346</b>	+562	+14.9%
E B I T D A	6,826	<b>8,452</b>	+1,626	+23.8%
自己資本比率	38.0	<b>39.6%</b>	+1.6pt	-

26/09期 上期業績予想		26/09期 通期業績予想	
上期業績 予想	達成率	通期業績 予想 (期初予想)	進捗率
58,000	110.7%	118,000	54.4%
-	-	-	-
-	-	-	-
2,450	167.6%	4,800	85.5%
-	-	-	-
2,350	183.1%	4,600	93.6%
1,550	183.8%	3,000	95.0%
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

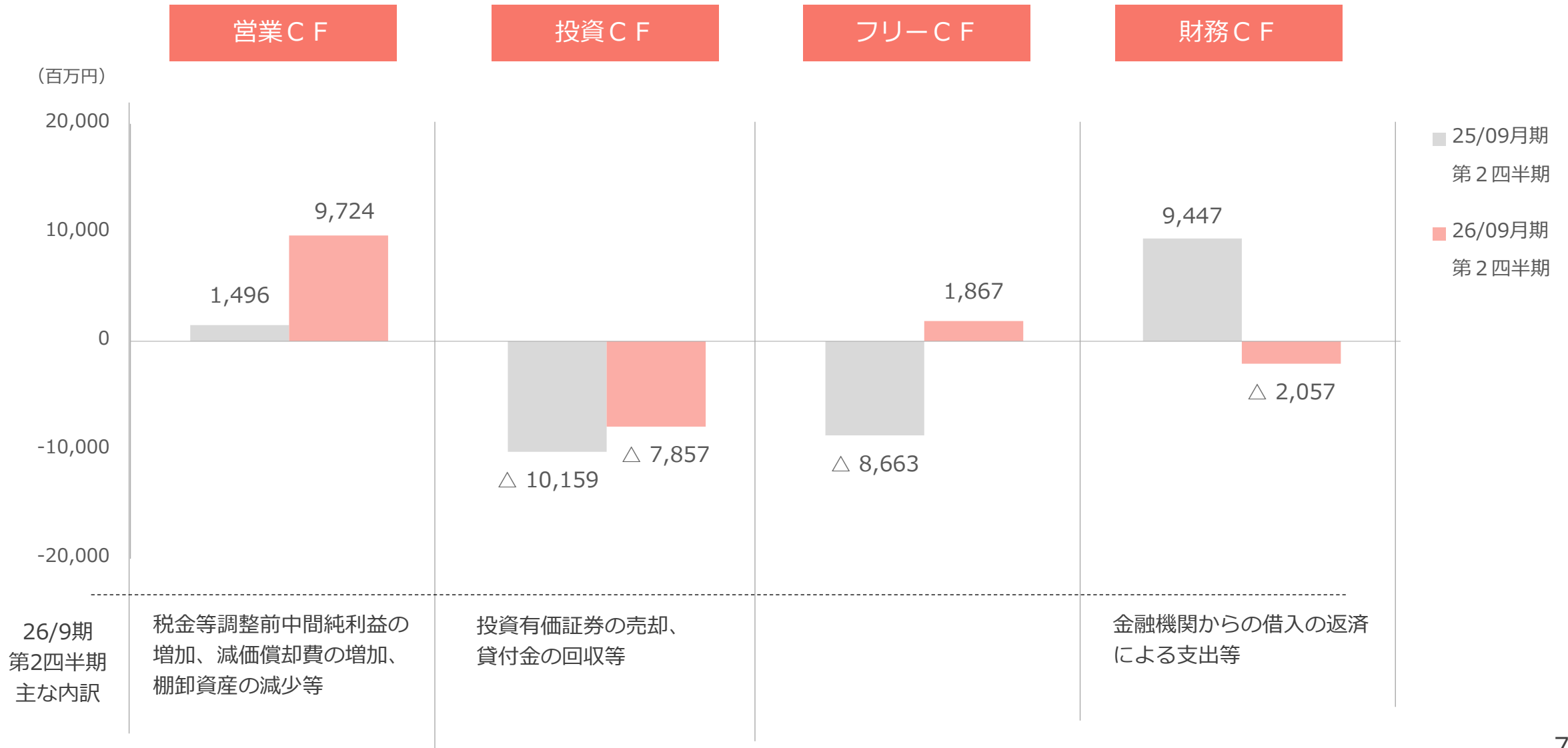
# 連結貸借対照表

- ・有形固定資産の増加は「岡山CONNECT物流センター」「十勝フードバレー物流センター」ベトナムの「ベンルック物流センター」竣工が主な要因
- ・長期借入金増加は、当期～来期竣工予定の3つの物流センターの設備資金が主な要因

(単位:百万円)

資産				負債・純資産			
	25/09期末	26/09期 第2四半期	増減		25/09期末	26/09期 第2四半期	増減
流動資産	34,253	<b>33,103</b>	△1,149	流動負債	39,814	<b>39,915</b>	+101
受取手形及び売掛金	13,318	<b>13,585</b>	+267	支払手形及び買掛金	4,882	<b>5,299</b>	+416
商品	14,461	<b>13,521</b>	△939	短期借入金	13,591	<b>11,488</b>	△2,102
短期貸付金	1,031	<b>580</b>	△450	固定負債	86,801	<b>89,268</b>	+2,466
固定資産	174,780	<b>183,847</b>	+9,066	社債	10,000	10,000	+0
有形固定資産	123,559	<b>131,704</b>	+8,145	長期借入金	68,897	<b>70,131</b>	+1,233
投資その他資産	48,046	<b>48,933</b>	+886	純資産	82,417	<b>87,765</b>	+5,348
総資産	209,034	<b>216,950</b>	+7,916	負債及び純資産	209,034	<b>216,950</b>	+7,916

# 連結キャッシュフロー計算書



# 2

## セグメント別 決算実績

Segment Result

1. 2026年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2026年9月期 通期業績予想
4. 中期経営計画の進捗状況
5. 持続可能な社会へ  
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

# セグメント別 損益

## 冷蔵倉庫事業

- 堅調な需要拡大により入庫量、出庫量、在庫量すべてにおいて前期を上回ったほか、料金改定交渉も進み、増収増益

## 食品販売事業

- 利益率重視の事業構造改革が進み、減収ながらも大幅増益

(単位:百万円)

	25/09期 第2四半期	26/09期 第2四半期	前期比		26/09期予想(期初予想)	
			増減額	増減率	通期予想 (期初予想)	進捗率
売上高	63,425	<b>64,228</b>	+803	+1.3%	118,000	54.4%
冷蔵倉庫事業	18,453	<b>20,359</b>	+1,906	+10.3%	38,000	53.6%
食品販売事業	44,956	<b>43,853</b>	△1,102	△2.5%	80,000	54.8%
その他	16	<b>15</b>	△1	△6.3%	-	-
セグメント利益	5,050	<b>6,269</b>	+1,218	+24.1%	-	-
冷蔵倉庫事業(※)	4,331	<b>4,793</b>	+462	+10.7%	7,300	65.7%
食品販売事業(※)	699	<b>1,450</b>	+751	+107.3%	1,800	80.6%
その他(※)	20	<b>25</b>	+5	+25.0%	-	-

※ 各セグメント利益は、配賦不能営業費用（管理部門にかかる費用）の控除前です。

- 高い在庫水準が続き、入庫量・出庫量・在庫量のいずれも前年同期比で増加し、保管料、荷役料とも大きく増加
- タイの連結子会社は、前期からの高水準の在庫率を維持したことに加え、国内と同様に料金改定交渉も進めた結果、増収

(単位：百万円)

25/09期  
第2四半期

保管料 9,276

荷役料 3,618

運送取扱  
1,340

通関  
1,424

その他  
1,590

タイヨコレイ  
1,203

18,453

**+1,906 +10.3%**

26/09期  
第2四半期

保管料 10,049

荷役料 4,035

運送取扱  
1,468

通関  
1,472

その他  
1,900

タイヨコレイ  
1,432

**20,359**

**保管料  
+773 (+8.3%)**

**荷役料  
+417 (+11.5%)**

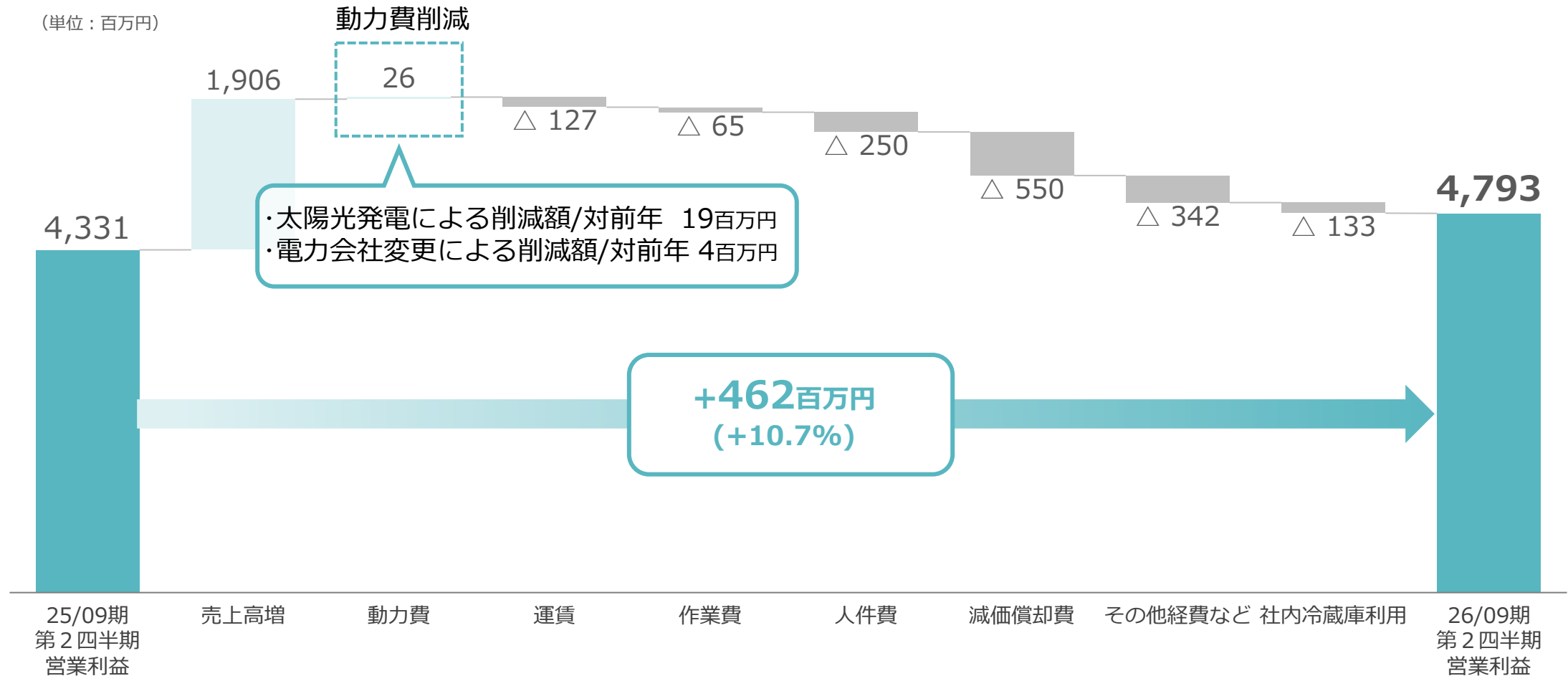
**タイヨコレイ  
+229 (+19.1%)**

### 貨物の取扱状況 (前年同期比)

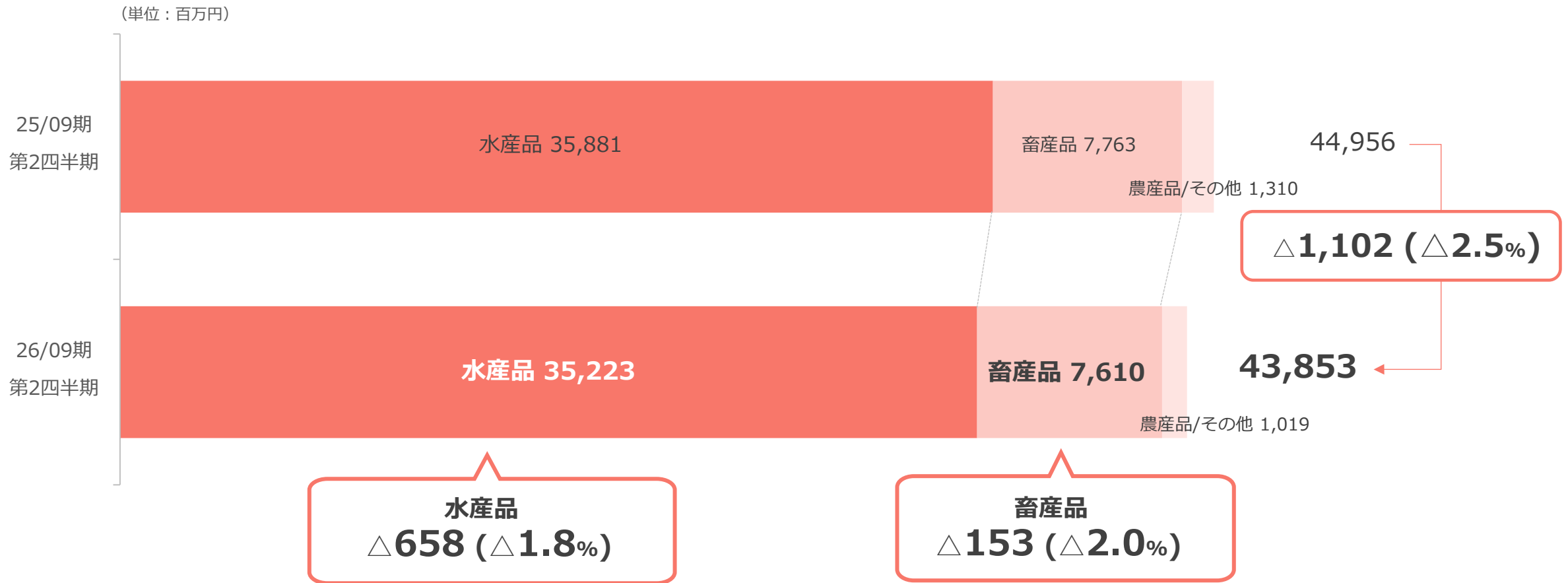
入庫取扱量	+6.8%
出庫取扱量	+5.4%
平均保管在庫	+3.5%
保管料単価	+5.3%
荷役料単価	+5.8%

※荷役料：倉庫への商品の入出庫作業や、仕分け作業に対する収入

- 堅調な需要増による大幅増収により、新たな物流センターの減価償却費負担増や人件費などのコスト増を吸収し462百万の増益
- エネルギー価格高騰の中、再生可能エネルギーの効果的な活用などにより、動力費は前年同期比で減少

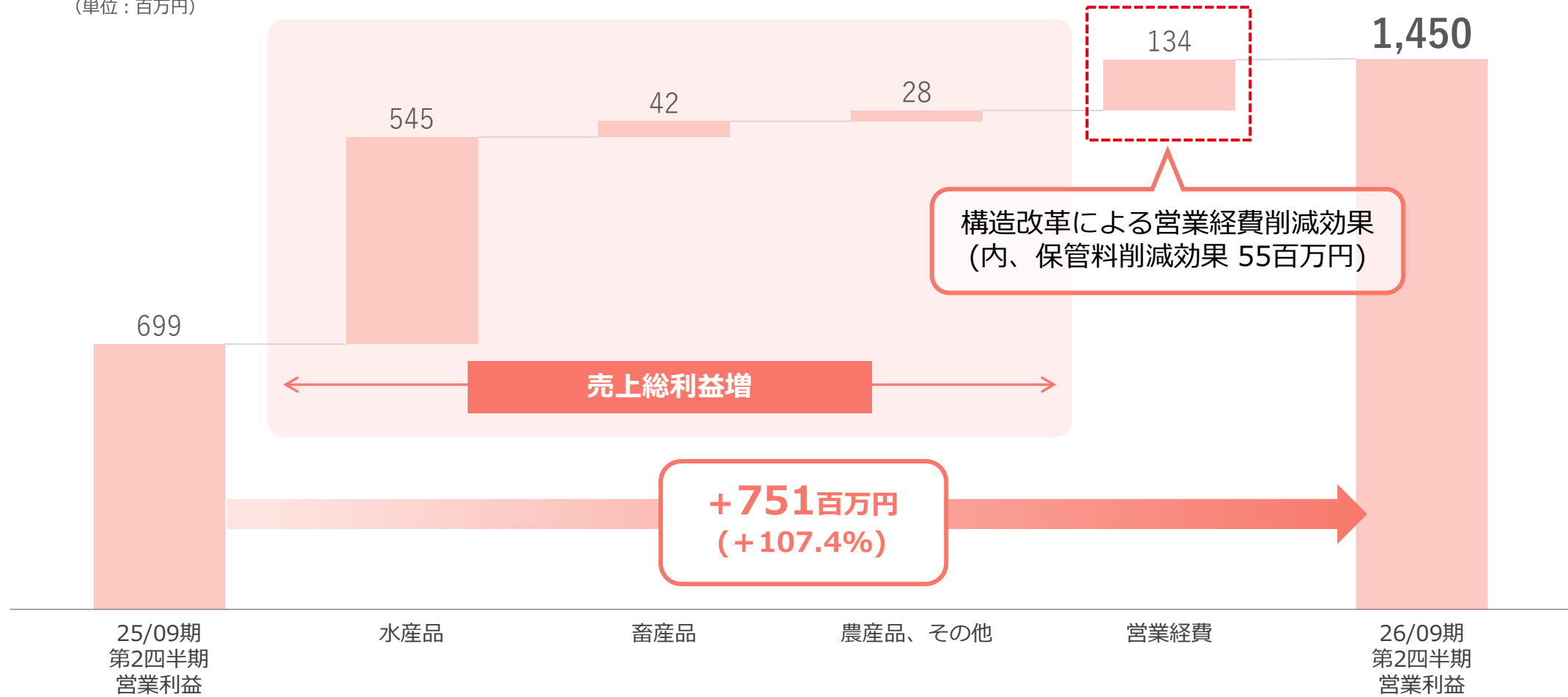


- 水産品： 国産の秋サケの不漁に加え、エビ、イカ、タコについても荷動きが鈍く、取扱いが減少
- 畜産品： 一部不採算事業縮小等、利益率重視の販売に努めた結果、取扱いが減少



- 売上総利益の増加および構造改革による営業経費削減効果により、751百万円の増益

(単位：百万円)



# 3

## 2026年9月期 通期業績予想

Earnings Forecast for FY2026

1. 2026年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2026年9月期 通期業績予想
4. 中期経営計画の進捗状況
5. 持続可能な社会へ  
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

# 2026年9月期 通期業績予想修正（上方修正）



- 業績進捗を反映し、通期予想を上方修正
- 冷蔵倉庫事業において在庫量、出庫量ともに順調に推移していること、および、食品販売事業の構造改革により利益率が改善していることから、前期比で大幅な増益を目指す

(単位:百万円)

	25/09期 通期実績	26/09期 通期予想（期初予想）		26/09期 通期予想 （修正後）		前回予想からの増減	
		予想[A]	前期比	予想[B]	前期比	増減[B-A]	増減率
売上高	125,563	<b>118,000</b>	△6.0%	<b>125,000</b>	△0.4%	+7,000	+5.9%
冷蔵倉庫事業	37,724	38,000	+0.7%	<b>40,000</b>	+6.0%	+2,000	+5.3%
食品販売事業	87,807	80,000	△8.9%	<b>85,000</b>	△3.2%	+5,000	+6.3%
営業利益	4,238	<b>4,800</b>	+13.3%	<b>7,000</b>	+65.2%	+2,200	+45.8%
冷蔵倉庫事業	7,436	7,300	△1.8%	<b>9,000</b>	+21.0%	+1,700	+23.3%
食品販売事業	1,217	1,800	+47.9%	<b>2,500</b>	+105.4%	+700	+38.9%
配賦不能費用他	△4,455	△4,300	-	△4,500	-	-	-
経常利益	3,658	<b>4,600</b>	+51.6%	<b>6,400</b>	75.0%	+1,800	+39.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,978	<b>3,000</b>	+1.4%	<b>4,800</b>	142.7%	+1,800	+60.0%

※ 各セグメント利益は、配賦不能営業費用（管理部門にかかる費用）の控除前です。

## 中期経営計画の進捗状況

Progress of Mid-term Business Plan

1. 2026年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2026年9月期 通期業績予想
4. 中期経営計画の進捗状況
5. 持続可能な社会へ  
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

2026年9月期  
目標

連結売上高	<b>1,250億円</b>
連結営業利益	<b>70億円</b>
EBITDA	<b>150億円</b>

ROE	<b>5% 以上</b>
自己資本比率	<b>40%台を維持</b>

## 冷蔵倉庫事業

### 事業方針

積み重ねてきた高品質な物流で国内外の課題を解消し、お客様へスマートコールドサービスを提供します。

セグメント売上高目標	<b>400億円</b>
セグメント利益目標	<b>90億円</b>

## 食品販売事業

### 事業方針

国内外（グローバル）の生産者とのネットワークを活かし、目利き力により旬や美味しさをお客様へのお届けします。

セグメント売上高目標	<b>850億円</b>
セグメント利益目標	<b>25億円</b>

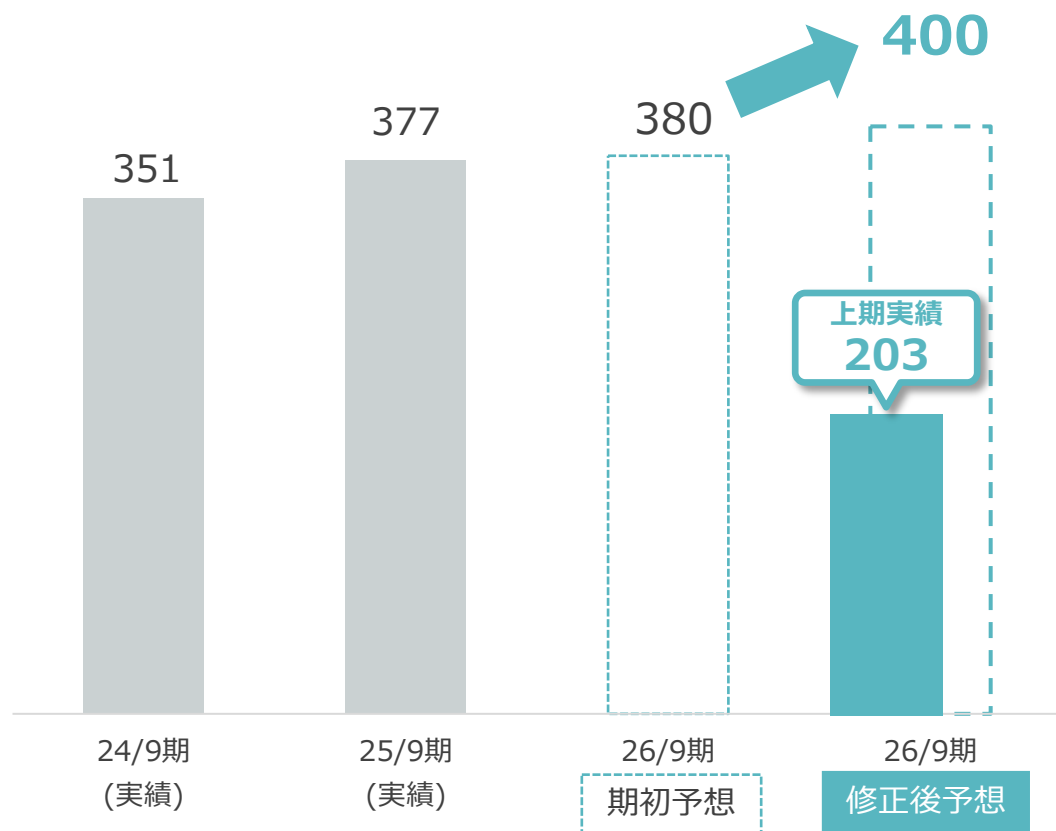
経営基盤

**生産性を向上させ事業の成長スピードを加速化させる**

- 環境配慮型センターの竣工が順調に進み**売上高・利益ともに順調に拡大**
- 売上高・セグメント利益ともに、2026年9月期の通期予想を上方修正し、**順調に進捗中**

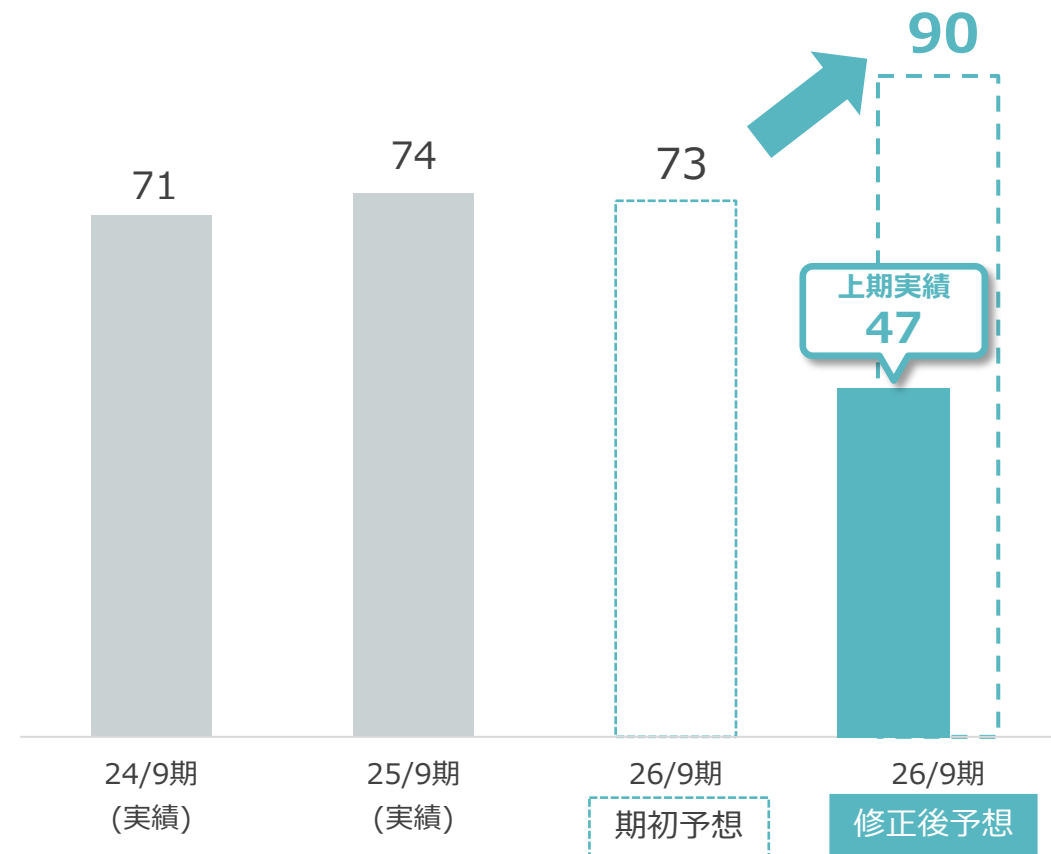
## 売上高

(億円)



## セグメント利益

(億円)

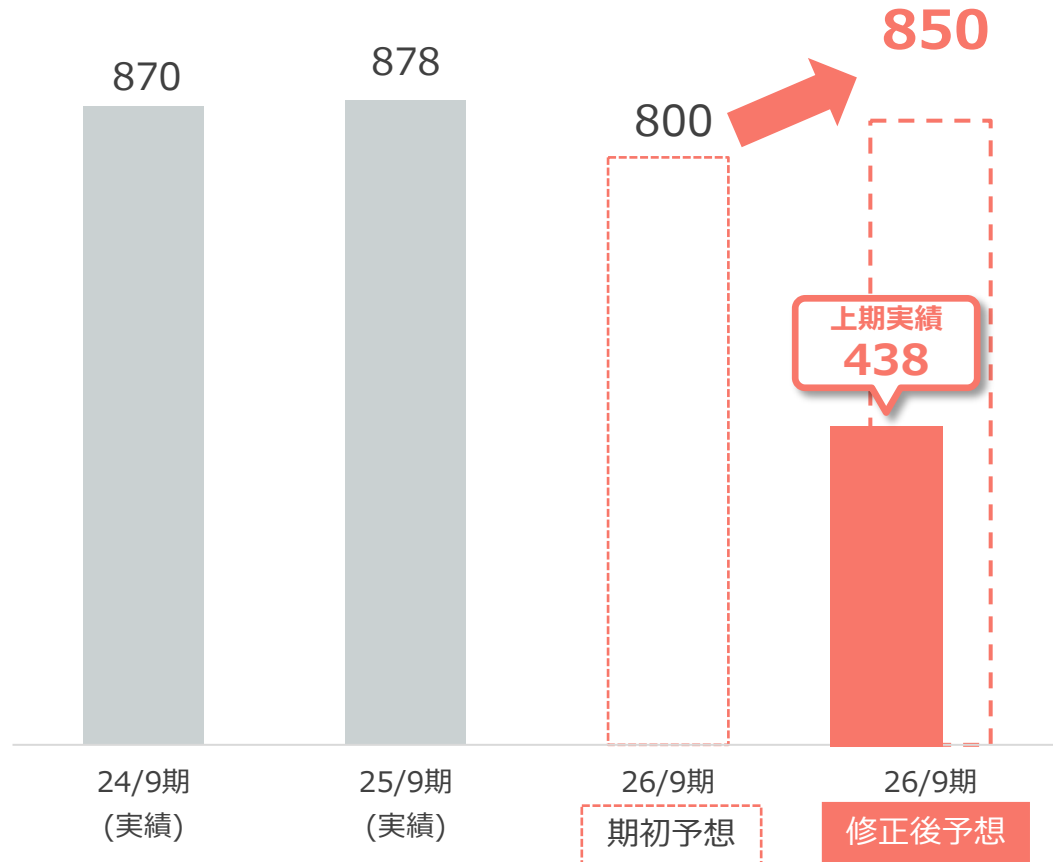


※：セグメント利益は、配賦不能営業費用（管理部門にかかる費用）の控除前です

- 利益率重視の事業構造への転換を進める中、セグメント利益が大幅に増加し、利益率が大きく改善
- セグメント利益の通期予想を大幅に上方修正

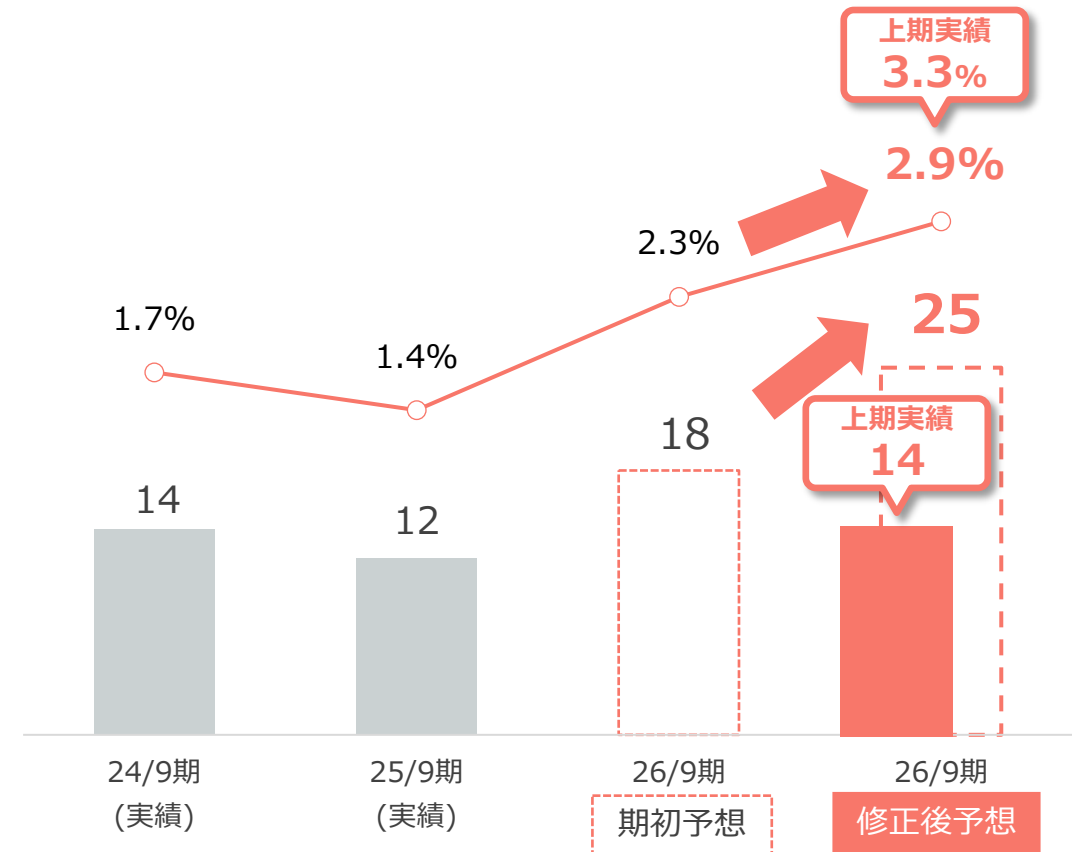
## 売上高

(億円)



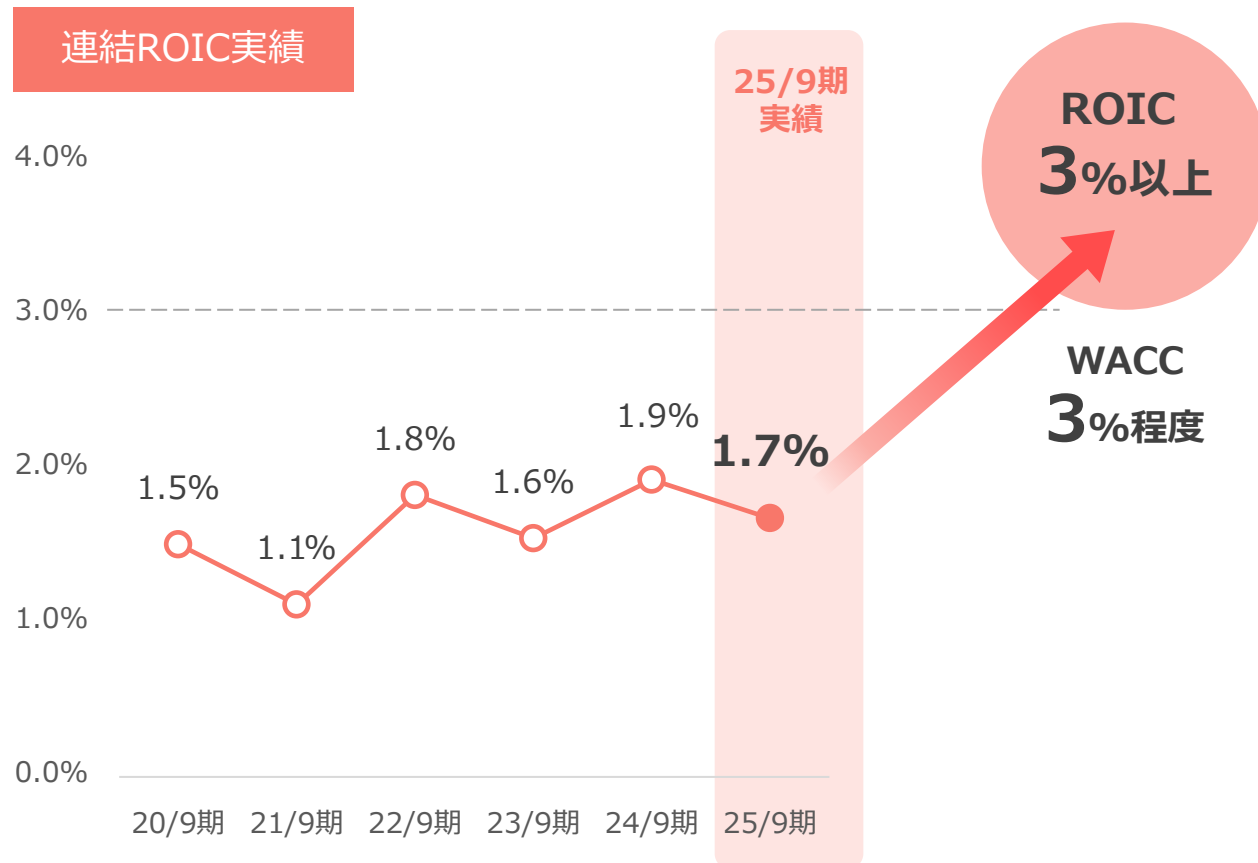
## セグメント利益・利益率

(億円)



※：セグメント利益は、配賦不能営業費用（管理部門にかかる費用）の控除前です

- 現在：株主資本コスト 6%~7%、WACC(加重平均資本コスト) 約3%
- ヨコレイ事業ビジョン2030の方針に沿い企業価値の向上を推進し、ROIC3%以上の早期達成を目指す



経営改善に向けた全部門実行方針

投資の適正化による財務健全性の維持

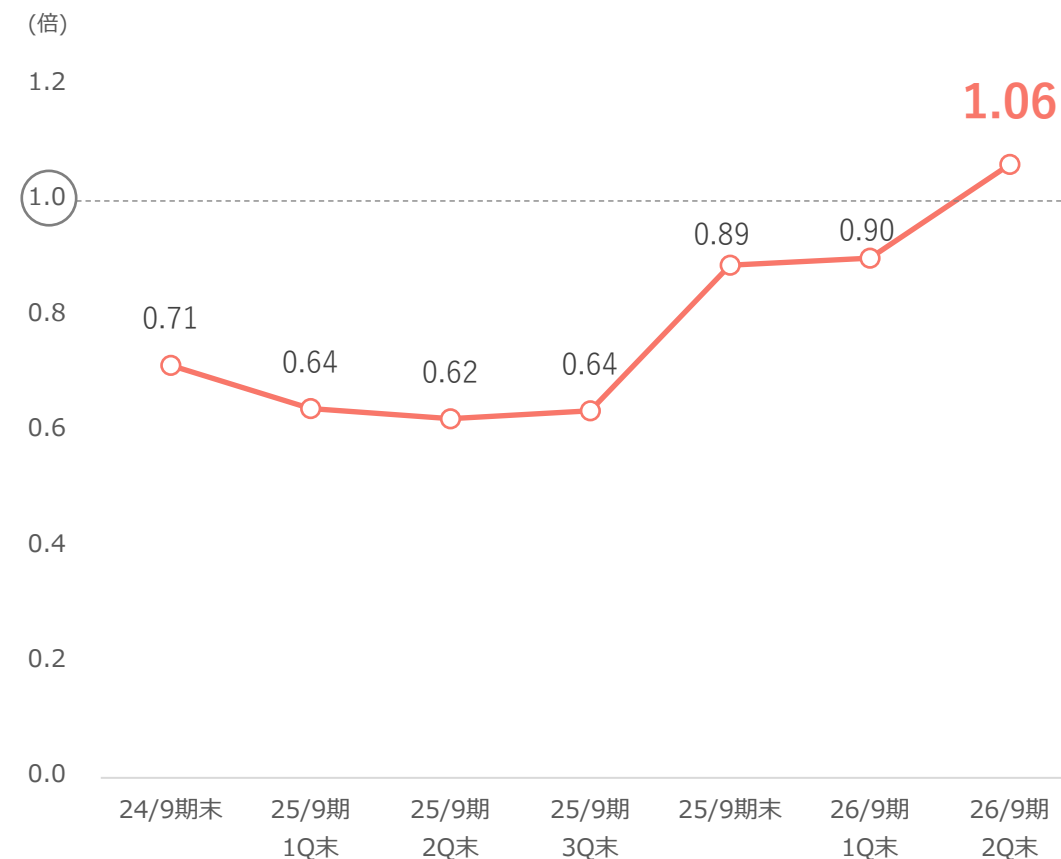
- 食品販売事業の改革
- 棚卸資産の改革
  - 事業別ROIC導入による組織的販売の厳格化
  - 事業投資に係るプロセスの厳格化

- 株価は上昇傾向
- PBRが2026年3月末現在で1.06倍となり、1倍割れを解消
- 引き続き、企業価値の向上とIR活動により株価およびPBR向上を目指す

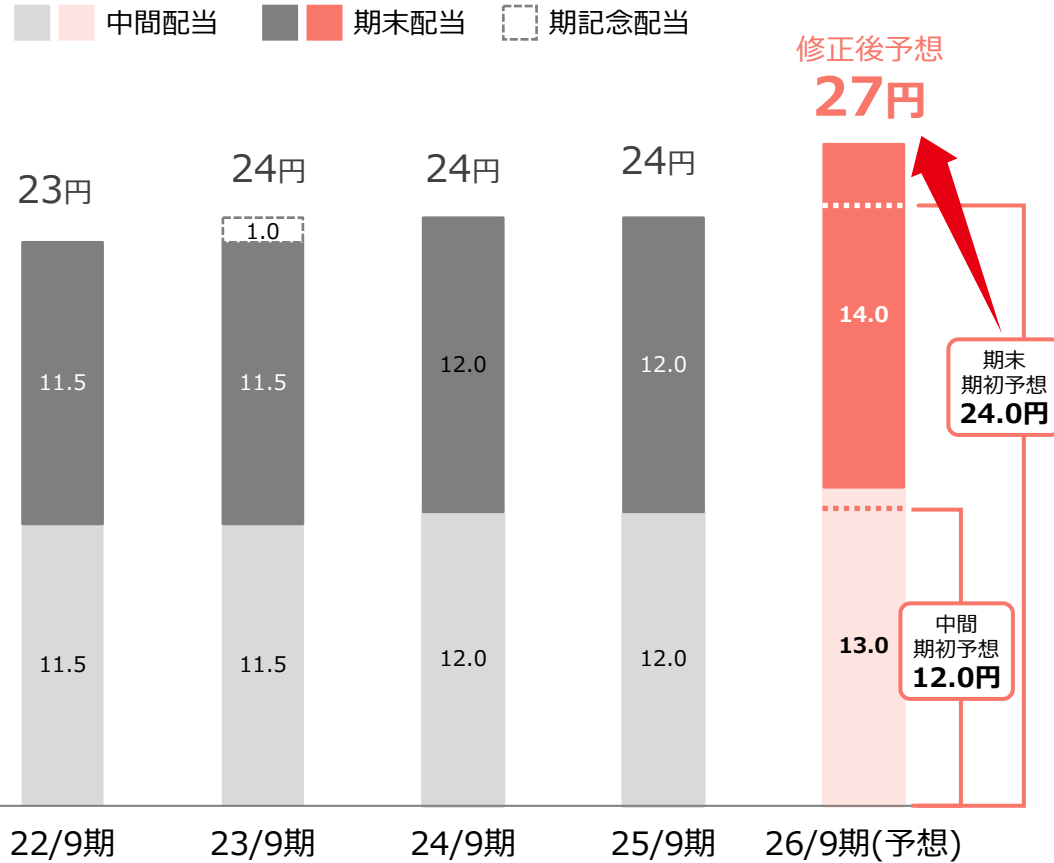
## 株価推移



## PBR推移



- 通期計画の上方修正を踏まえ、中間配当を1円増配、期末配当を2円増配し、年間予想配当額を27円に修正

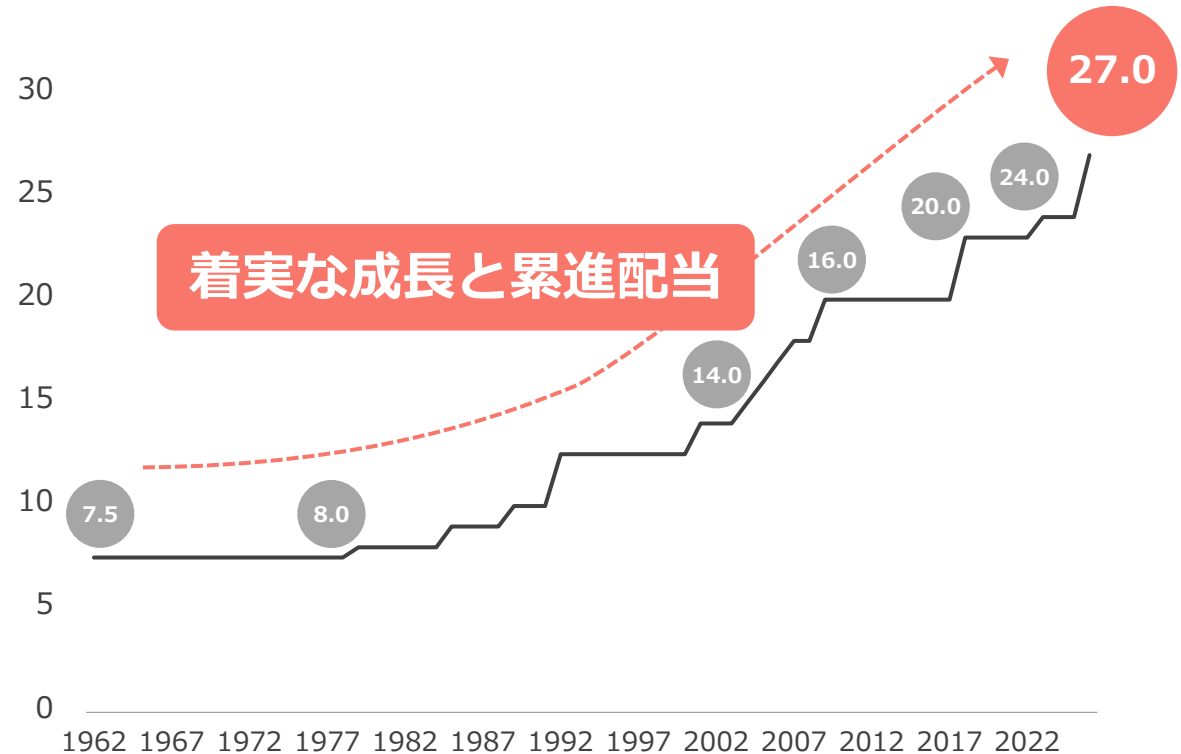


配当性向	22/9期	23/9期	24/9期	25/9期
配当性向	40.8%	-	35.9%	71.5%

## 年間配当推移

(円)

1962年の東証二部上場以来、半世紀以上増配を継続



# 5

## 持続可能な社会へ

－サステナビリティへの取り組み－

For the sustainable society

経営理念

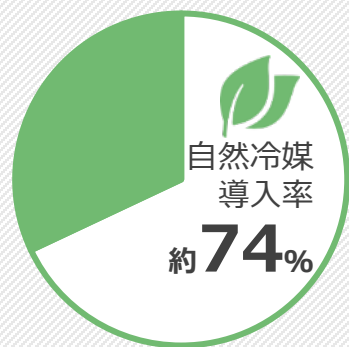
「会社は社会の公器であり、利益は奉仕の尺度である」

1. 2026年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2026年9月期 通期業績予想
4. 中期経営計画の進捗状況
5. 持続可能な社会へ  
－サステナビリティへの取り組み－
6. APPENDIX

## 環境に配慮した 自然冷媒による冷却システム

業界でもいち早く冷媒をフロンから、  
環境にやさしい自然冷媒（NH3、CO2）  
へ切り替え

業界トップクラス



## 太陽光発電システム による発電能力及びCO2削減量

冷蔵倉庫で太陽光発電システムが稼働



物流センターの屋上に設置された太陽光発電  
モジュール

## 省エネな冷蔵倉庫

業界平均より電力使用が  
**13%** 少ない

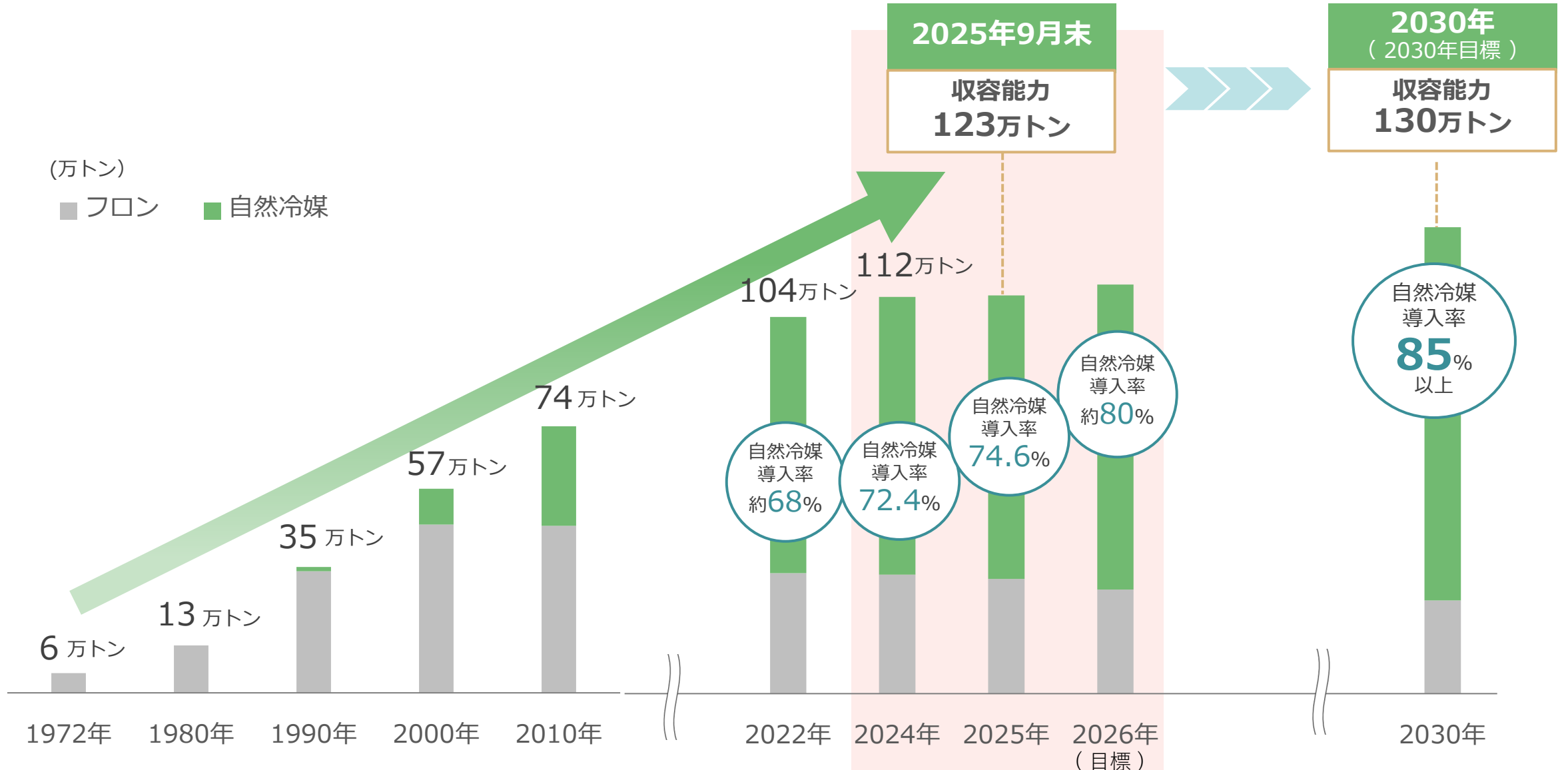
収容能力1000トンあたり  
の電気の使用量

業界平均 : 161 MWh  
当社 : **140 MWh**

日本冷蔵倉庫協会  
冷蔵倉庫実態調査 2024年版 より

✓ 自然環境・地球にやさしい物流を実現      ✓ 電気料金高騰の影響が業界平均よりも少ない  
温室効果ガスのサプライチェーン排出量を意識する顧客に選ばれる冷蔵倉庫へ

# 環境配慮NO.1 自然冷媒の割合と冷蔵収容能力

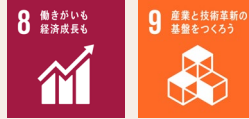


## 省人化 & 自動化

### 省人化・自動化システムの導入



- 全自動倉庫であるベトナムベン  
ルック物流センター、十勝フード  
バレー物流センターを竣工
- 大幅な省人化を実現



- 作業用ロボットを使用した  
デバンパライズシステム（DPS）  
を導入
  - 荷下ろし後の貨物のパレットへの  
積み上げ、フィルム梱包までの  
一連の作業を完全に自動化

## ダイバー シティ

### ダイバーシティへの取り組み



- 女性・外国籍の活躍
- キャリア継続を支援
- 働きやすい職場づくりの推進



## 働き方 改革

### スマートオフィス



- 事務作業が遠隔でできる  
スマートオフィスを開設
- 通勤時間の短縮、および複数事業  
所の業務を一括集約処理すること  
で少人数での効率的な事務処理が  
可能に



## 地域貢献

### スポンサー活動による地域貢献



©YDB



- 地域スポーツクラブの支援
- 日本将棋連盟「研修会」運営の支援
- えのすいecoサポーターとして新江ノ島水族館のエコ活動に協賛



## 地域貢献

### 利益の一部を寄付として社会に還元

1973年から毎年寄付を継続的に実施  
【2024年度】寄付件数: 20件



- 横浜市教育委員会への協賛
- 神奈川フィルハーモニー管弦楽団への寄付
- 日本将棋連盟への支援

「よこはま子ども国際平和プログラムスピーチコンテスト」に協賛



## 社会貢献活動

### 全国食支援活動協力会へ保管場所を提供



東京羽田物流センターで、全国食支援活動協力会  
ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム (MOWLS)  
の中核ロジ拠点として保管場所の提供を開始



- MOWLSとは、全国のこども食堂等の「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境をサポートするシステム
- MOWLSは支援者からの寄贈が効率的に運搬・仕分け・分配されることで支援者の負担を軽減し、活動者への支援が充実することを目指す

#### 中核ロジ拠点



県域もしくは複数県域分の寄贈食品の保管機能をもった倉庫

# 6

## APPENDIX

SOURCE BOOK

1. 2026年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2026年9月期 通期業績予想
4. 中期経営計画の進捗状況
5. 持続可能な社会へ  
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX



ヨコレイ本社 (横浜コネクトスクエア10F)

会社名	横浜冷凍株式会社
本社所在地	横浜市西区みなとみらい三丁目3番3号 横浜コネクトスクエア10F
設立	1948年5月13日
代表者	代表取締役社長 古瀬健児
資本金	14,303百万円
事業拠点	冷蔵倉庫事業 国内56 海外6 通関事業 国内6 食品販売事業 国内21
従業員数	連結 1,804名 単体 1,446名
上場証券取引所	東証プライム (証券コード 2874)

※2025年9月30日現在

「地球にやさしい物流センター/BCP対応型センター」の拡大を通じて、お客様のサプライチェーンのグリーン化/持続可能化を支援

■ 中期経営計画 数値目標の進捗状況

		実績 2024年9月	実績 2025年9月	目標 2026年9月	
拠点・物流センター数(海外含む)		58事業所	62事業所	<b>60事業所</b>	<div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> <b>2030年</b> (海外拠点含む)                 </div>
太陽光発電 導入	導入事業所	28事業所	34事業所	<b>32事業所</b>	
	発電能力	11メガワット	13メガワット	<b>13メガワット</b>	
	C02削減量 (海外除く) (2015年比)	年 3,809トン 34%削減	年 4,288トン 35%削減	年 <b>4,260</b> トン 37%削減	
自然冷媒化	導入率(冷凍機入替含む)	72.4%	<b>74.6%</b>	<b>80%</b>	<div style="background-color: #e8f5e9; padding: 10px; text-align: center;"> <b>20メガワット</b> </div> <div style="background-color: #e8f5e9; padding: 10px; text-align: center;">                     年 <b>6,560</b>トン 47%削減                 </div> <div style="background-color: #e8f5e9; padding: 10px; text-align: center;"> <b>85%</b> </div>

<b>新設センター 再生可能エネルギー 利用率</b>		目標 <b>15%以上</b>	2025年竣工 物流センター	岡山CONNECT 物流センター <b>22%</b> (最大値)	十勝フードバレー 物流センター <b>12%</b> (最大値)	ベンルック 物流センター <b>41%</b> (最大値)
-------------------------------------	--	--------------------	-------------------	--	---	--

・ 業界比較 品目別入庫 (セグメント外取引含まず)

(単位:千トン)

品目別入庫実績		2025年9月期 第2四半期	2026年9月期 第2四半期	前 期 比	
				増 減	増 減 率
水 産 品	ヨコレイ (シェア)	99 (10.4%)	103 (11.1%)	4 (0.7pt)	4.0%
	日冷倉12都市	952	924	△28	△2.9%
畜 産 品	ヨコレイ (シェア)	235 (11.3%)	246 (11.5%)	11 (0.2pt)	4.7%
	日冷倉12都市	2,086	2,133	47	2.3%
農 産 品	ヨコレイ (シェア)	119 (19.2%)	125 (21.1%)	6 (1.9pt)	5.0%
	日冷倉12都市	621	593	△28	△4.5%
冷 凍 食 品 他	ヨコレイ (シェア)	290 (11.7%)	320 (12.9%)	30 (1.2pt)	10.3%
	日冷倉12都市	2,480	2,478	△2	△0.1%
合 計	ヨコレイ (シェア)	743 (12.1%)	794 (13.0%)	51 (0.9pt)	6.9%
	日冷倉12都市	6,139	6,128	△11	△0.2%

・ 業界比較 品目別月末在庫累計 (セグメント外取引含まず)

(単位:千トン)

品目別在庫累計		2025年9月期 第2四半期	2026年9月期 第2四半期	前期比	
				増減	増減率
水産品	ヨコレイ (シェア)	495 (15.8%)	547 (17.1%)	52 (1.3pt)	3.0%
	日冷倉12都市	3,142	3,192	50	0.2%
畜産品	ヨコレイ (シェア)	644 (13.3%)	622 (13.3%)	-22 (0pt)	△2.0%
	日冷倉12都市	4,859	4,687	-172	2.6%
農産品	ヨコレイ (シェア)	599 (33.8%)	612 (33.2%)	13 (△0.6pt)	5.2%
	日冷倉12都市	1,771	1,844	73	2.0%
冷凍食品他	ヨコレイ (シェア)	364 (12.3%)	402 (13.4%)	38 (1.1pt)	8.1%
	日冷倉12都市	2,954	2,989	35	2.0%
合計	ヨコレイ (シェア)	2,102 (16.5%)	2,183 (17.2%)	52 (0.7pt)	2.9%
	日冷倉12都市	12,726	12,712	-14	1.8%

・ 主要品目別 売上数量・金額・単価（連結ベース）

（単位：数量=トン・金額=百万円・単価=円）

主要品目	2025年9月期 第2四半期			2026年9月期第2四半期			前 期 比		
	数 量	金 額	単 価	数 量	金 額	単 価	数 量	金 額	単 価
ポーク	8,002	4,579	572.3	7,342	4,308	586.8	△660	△271	+14.5
チキン	5,280	2,165	410.2	4,180	2,096	501.5	△1,100	△69	+91.3
ビーフ	846	963	1,139.2	935	1,164	1,245.2	+89	+200	+106.0
鮭 鱒	6,045	6,353	1051.1	3,706	4,567	1,232.5	△2,339	△1,786	+181.4
ホタテ	1,150	2,605	2,265.6	1,483	3,169	2,137.2	+333	+563	△128.4
サバ	23,284	5,672	243.6	23,965	7,907	330.0	+681	+2,235	+86.4
エビ	2,402	3,078	1,281.5	1,627	2,391	1,469.8	△775	△686	+188.3
イカ	2,704	2,498	924.2	2,394	2,003	837.0	△310	△495	△87.2
ホッケ	2,852	1,369	480.1	4,184	2,062	493.0	+1,332	+693	+13.0
ウナギ	462	1,764	3,819.3	474	1,424	3,005.3	+12	△340	△814.0



## 人とおいしさのあいだに

おいしさは、ココロを満たす  
おいしさは、カラダをつくる  
すべての人を幸せにするみなもと

食により添い、食を豊かにする  
かかせない存在として、  
私たちはこれからもずっと  
そのおいしさを守り続けていきます

冷蔵倉庫と食品販売  
ふたつの事業で日本へ、世界へ  
人のために食をつなぐ使命を果たします

生産地から食卓まで、  
食にかかわる人たちの  
ほほえみもつないでいく

人とおいしさのあいだに  
ヨコレイ

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解ください。

当社の事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製、転載等を行うことを禁止します。



◀横浜冷凍(株)ホームページは  
こちらをスキャン

**お問い合わせ先**

横浜冷凍株式会社 広報 I R 部

E-mail: [info@yokorei.co.jp](mailto:info@yokorei.co.jp)

URL : <https://www.yokorei.co.jp/>